

6カ月にわたり連載させていただいたコラム「愛されるリーダーの条件」も、今回が最終回になりました。今までお読みいただき、本当にありがとうございます。

私がこのコラムでお伝え

ナビゲーター

したかったことは、日本に「愛されるリーダー」が増えることで、日本国民の幸せ度が確実に高まり、充実した幸せな人生を送れる人が増えるはずだと確信したからです。

愛されるリーダーの条件

最後は自分を信じる力が必要

リーダーは抱える責任も大きく、孤独なものです。日本を支えるリーダーにとって、愛されることは、心の平和の時代には不可欠です。

がむしゃらに働くことがあるべき姿だとして、高度成長時代を生き抜いてきた日本の技術力、勤勉さは、世界で認められるようになりました。

その一方で、日本を支える仕事一筋に生きてきた数多くのビジネスマンが、定年

ター」です。

人生は楽しく素晴らしいものだといいことを、自身ものだというのを、自身

の人生で感じながらその背中を見せ、自分のTeamの

人に伝えていける人で、心身ともに健康で、あること。そして、世界が平

んな人になりたい！と目標にされるような、そんなリーダーが必要なのです。

ノーマン・ビンセント・ピールはアメリカの有名な

牧師で、「ポジティブ・シンキング」という言葉を初めて遣い、「幸せな人生を送るには、自分自身を信じ

なさい」と説きました。リーダーこそ、最後の最後、自分のことを信じ

るのには、自分自身を信じなさい」と説きました。リーダーこそ、最後の最後、自分のことを信じ

るのには、自分自身を信じなさい」と説きました。リーダーこそ、最後の最後、自分のことを信じ

【フリーアナウンサー 生田サリー】

(おわり)

